



ももやまだより 9月号

No.41

暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配も感じられる日も出てきました。子ども達も散歩中にトンボやぶどうを見つけるなど、秋を感じています。社会福祉法人造福会では「敬老の集い」を9月1日にオークラホテルで開催します。1、2歳クラスの子も達は、おじいさん おばあさんに見て頂く為に、歌や楽器を頑張って練習しています。皆、とても上手に可愛くできています。是非その可愛らしい姿を見に来てください。 園長

あかぐみ

8月から8人になったあかぐみさん、暑さに負けずたくさん食べて元気いっぱいです。8月は水あそびで水風船をぎゅっと握ってやわらかい感触を楽しんだり、室内ではマットの上をハイハイしたりつかまり立ちで移動したりと身体を動かすことを楽しんでいます。「マンマ」や「ワンワン」など言葉が出始めた子もいます。これから涼しい日には散歩や園庭で自然に触れながら過ごしていきたいと思います。

ももぐみ

8月に入り少しずつ話せる言葉が増えてきたももぐみさん。大人気の車の玩具で取り合いが起きた時、「貸して」というお友だちや、それに答えて「いいよ」というやり取りが見られました。また、お友だちの名前を呼んだり「せんせー！」と呼んでくれたりもしています。必要な言葉を伝えていながら、もっとお友だちと遊ぶことが楽しめるようにしていきたいです！

きぐみ

8月はプールでの水あそびの他、どろんこあそび・泡あそび・色水あそび等々、いろいろな感触あそびも楽しみました。初めは抵抗があった子もいましたが、先生と一緒に触ったり、指先でツンツンとつついてみたりを繰り返すと慣れてきて大胆に遊び始める子もいました。また機会があれば様々な感触あそびをみんなで楽しみたいと思います♪



9月うまれのおともだち



- 1日 敬老会
- 13日 お月見会
- 20日 誕生会
- 26日 運動会予行
- 27日 どんぐり拾い
(黄組のみ)



ほけんだより



とびひ（伝染性膿痂疹）・・・ とびひは、皮膚に細菌が感染することで起きる皮膚の病気です。

【原因】

○虫刺されやあせも、湿疹を掻きこわして傷ができたり、乾燥肌やアトピー性皮膚炎などで皮膚のバリア機能が低下した部位に細菌が感染することで発症します。

○とびひの原因菌となるのは主に黄色ブドウ球菌や溶血性レンサ球菌という種類の細菌です。

皮膚にできた小さな傷から入り込んだ時、とびひを起こす原因となります。

【症状】

○水ぶくれができるタイプ

最初に赤みや痒みを伴う水ぶくれができます。それが破れて、ただれが起きます。水ぶくれの中身を触った手で別の部位を触ることで病変があちらこちらに広がります。

○かさぶたができるタイプ

赤みから始まり、小さな膿疱ができそれが破れてただれ、厚いかさぶたができます。時に、発熱、リンパの腫れ、喉の痛みの症状があります。

【対処・予防法】

○虫刺されや傷跡などを汚れた指や爪で掻きむしらないようにしましょう。

○こまめに爪を切り、手洗い、清潔を心がけましょう。

○入浴、肌着の交換をこまめに行い、皮膚を清潔にしておきましょう。

☆皮膚科を受診し、伝染力が強いいため他のお子さんに移りやすいので治るまでは接触させないように気を付けましょう。



給食だより



中秋の名月 「お月見」

中秋の名月を「十五夜」ともいいます。十五夜は、秋の美しい月を見ながら収穫に感謝する日と言われ、十五夜には15個のお団子をお供えます。お月見に欠かせないお団子は白玉粉や上新粉で作ります。お豆腐を混ぜると滑らかになり、子どもたちも食べやすくなります。

お米は栄養たっぷり！

ご飯は、味が淡泊でおかずにも合い、よく噛むことで唾液に含まれるホルモンが脳を活性化します。また食後の血糖値も上がりやすく、ゆっくり吸収されるため腹持ちが良く脂質が少ないのでパンなどに比べて太りにくい食材です。秋の味覚と合わせて美味しい新米を味わいましょう♪

